

# 白神山地世界自然遺産 秋田県側の成果と課題

秋田県生活環境部  
自然保護課

# 白神山地世界遺産地域の概要

## ▶ 遺産地域の面積

	全体面積	うち秋田県側
世界遺産地域	16,971ha	4,344ha
核心地域	10,139ha	2,466ha
緩衝地域	6,832ha	1,878ha

秋田県側は、全体の約1/4



# 世界自然遺産登録の意義

---

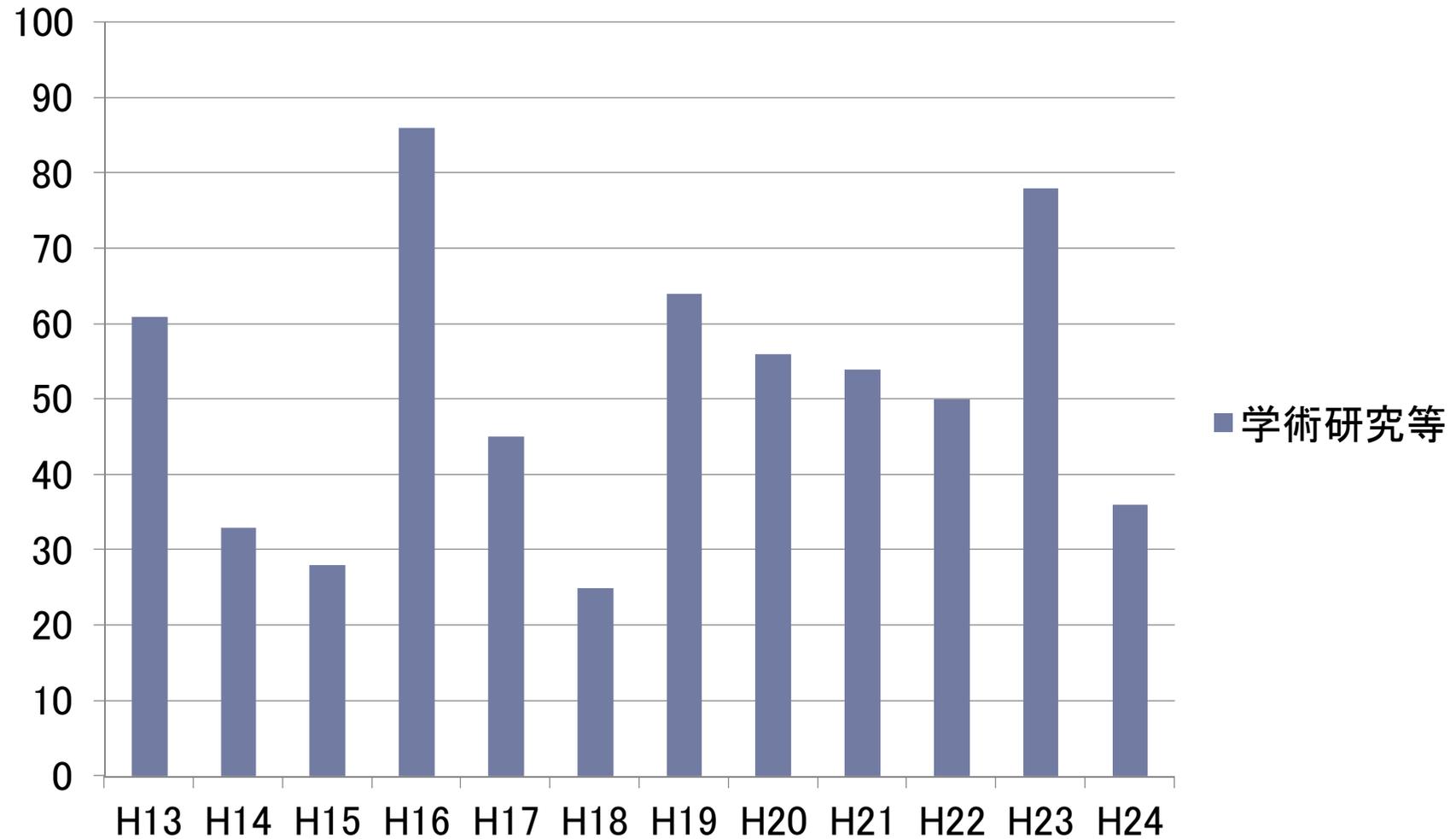
- ▶ 一番の成果は、将来にわたって白神山地が**現状のまま保全される**ことが保証されたこと
  - ▶ 白神山地は、開発行為に反対する自然保護運動から、世界自然遺産登録に至った
- ▶ 白神山地は、遺産登録以前はほとんど無名
- ▶ 必ずしも優れた景観とは言えない「何の変哲もないただの山」が世界に冠たる至宝へと変貌した
  - ▶ 大規模な伐採・造林や観光開発などから、分厚く隔絶されたブナ林の山塊を有する箇所は白神山地以外にない
  - ▶ 独特の生態系や生物進化史上のプロセスが高く評価された

## 核心地域の入山規制

---

- ▶ (秋田県側) 学術研究等の特別の理由がある場合を除き、原則入山禁止
  - ▶ 粕毛川の源流部に位置し、貴重な動植物相の豊かな地域であり、原生的な状態を維持すべき地域である
- ▶ (青森県側) 登山については、特定の「27ルート」に限り届出により入山容認
  - ▶ 既存の登山道に加え溪流や稜線について既に利用されている実態を考慮

# 核心地域への入山人数（許可）



・東北森林管理局 集計  
・H24のデータは9/7現在の数値

# 遺産地域保全管理上の問題

---

## 【現状】

- ▶ 秋田県側の核心地域に関しては、大きな問題は生じていない
  - ▶ 原則入山禁止（人の立ち入りが非常に少ない）
  - ▶ 樹木の伐採等の事案もほとんどなし
  - ▶ 地元の理解、協力のもと、良好に保全されている
- ▶ 既存の登山道沿いでは、一部で高山植物の盗掘が発生

## 【将来】

- ▶ ニホンジカの侵入による影響が懸念される
  - ▶ 科学委員会等で生息状況を注視

# 遺産地域及び周辺地域への入山者数

▶ 環境省設置の自動計測データより

▶ 秋田県側

⑨ニツ森

⑩小岳

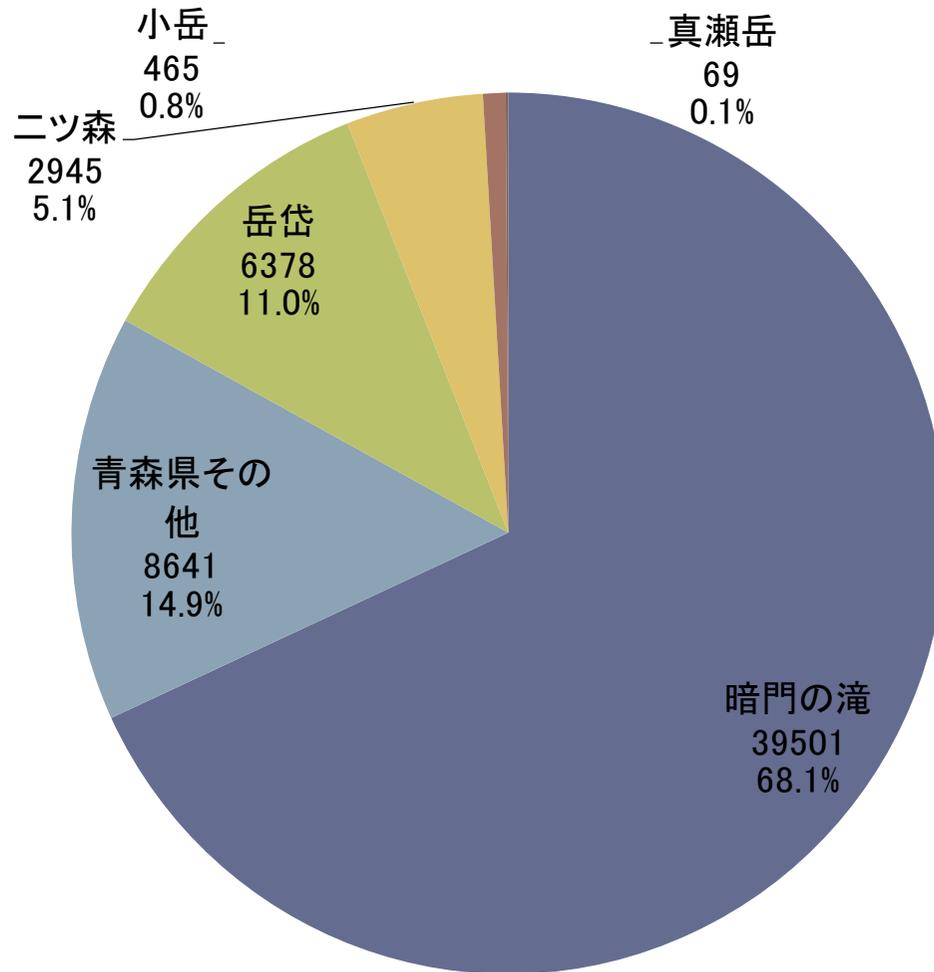
⑪岳岱

⑬真瀬岳



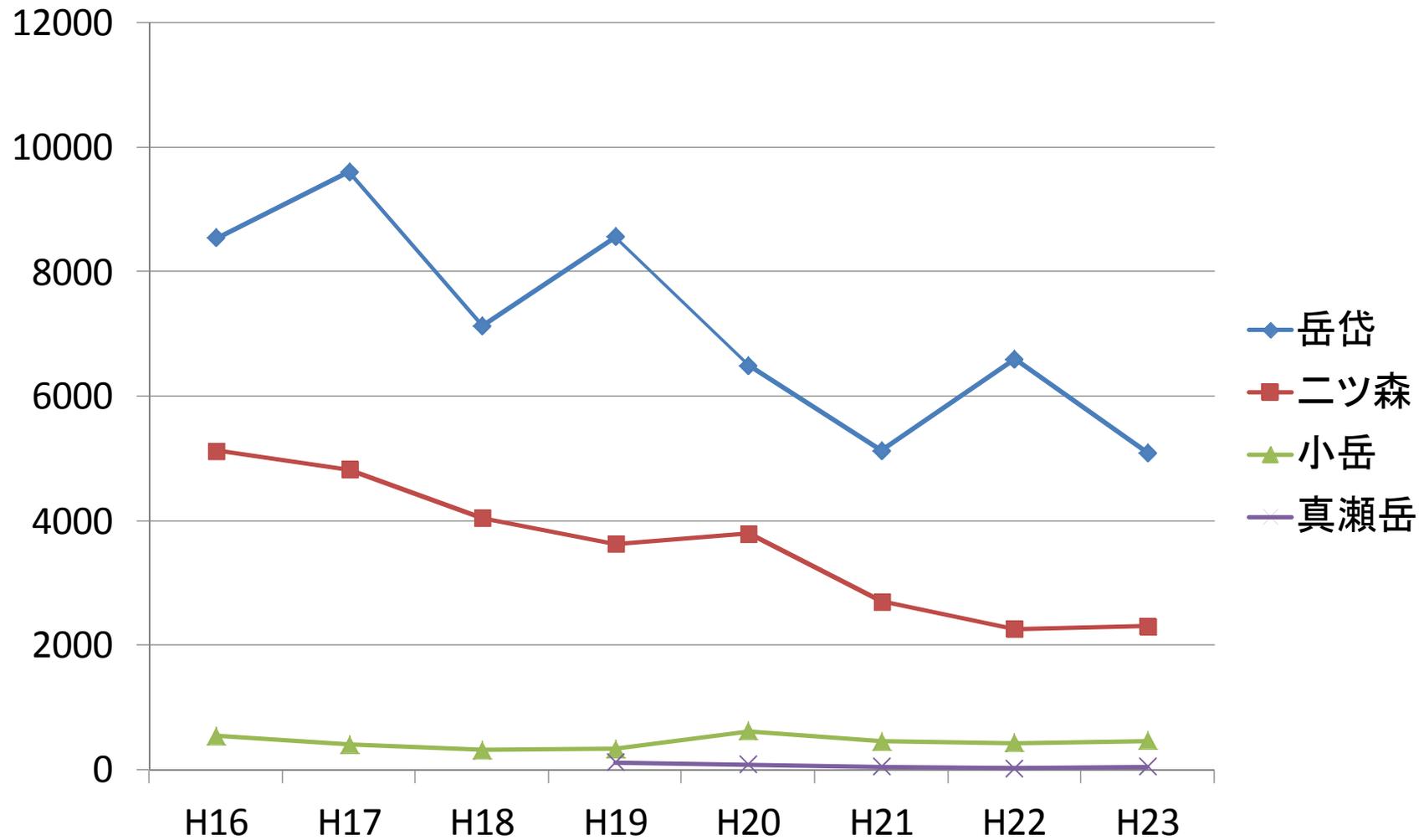
※環境省作成資料より抜粋

# 計測箇所別の入山者数 (H19~23平均)

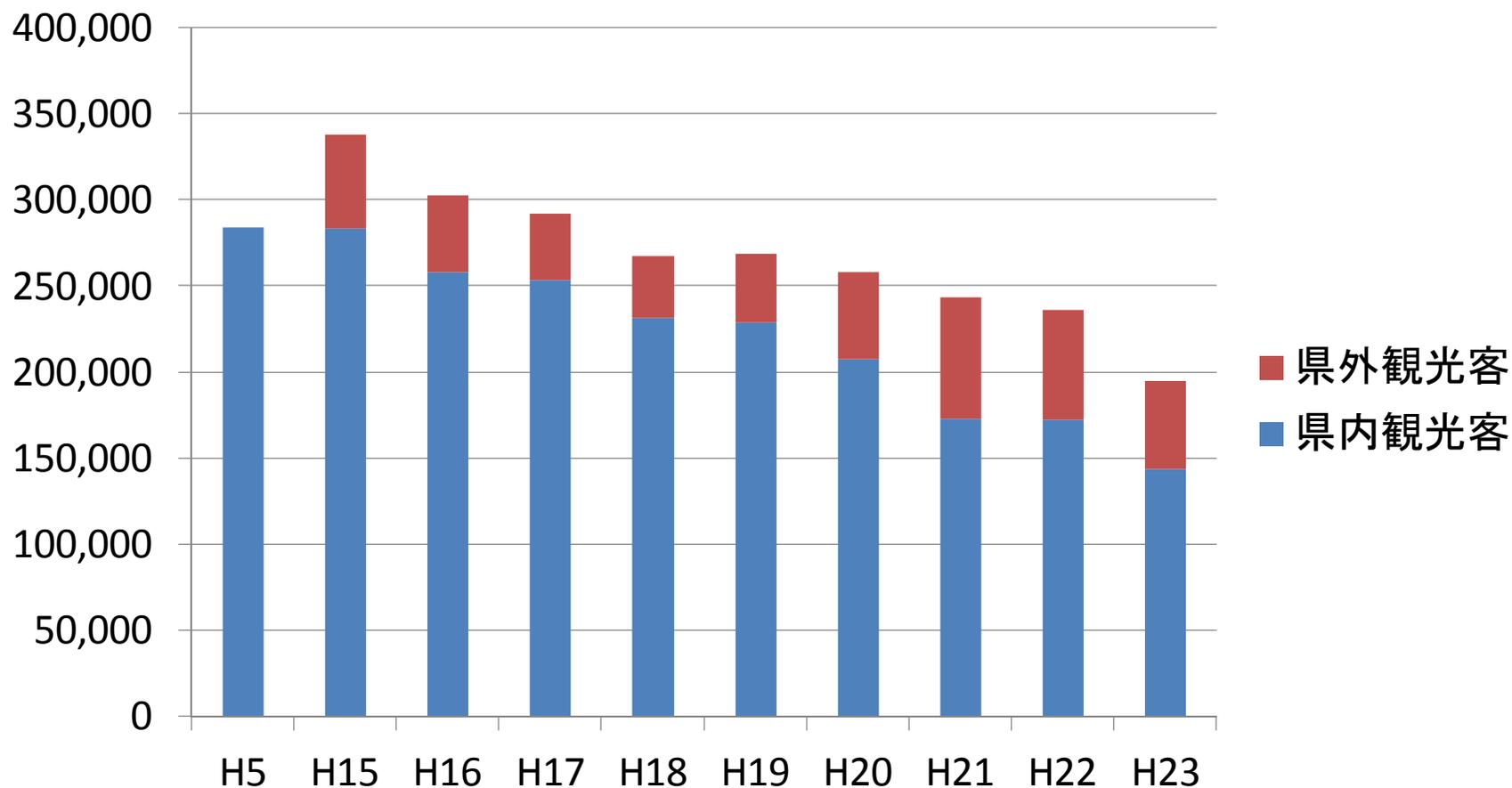


- ・秋田県側は全体の約2割
- ・暗門の滝が約7割を占める

# 秋田県側入山者数の経年変化

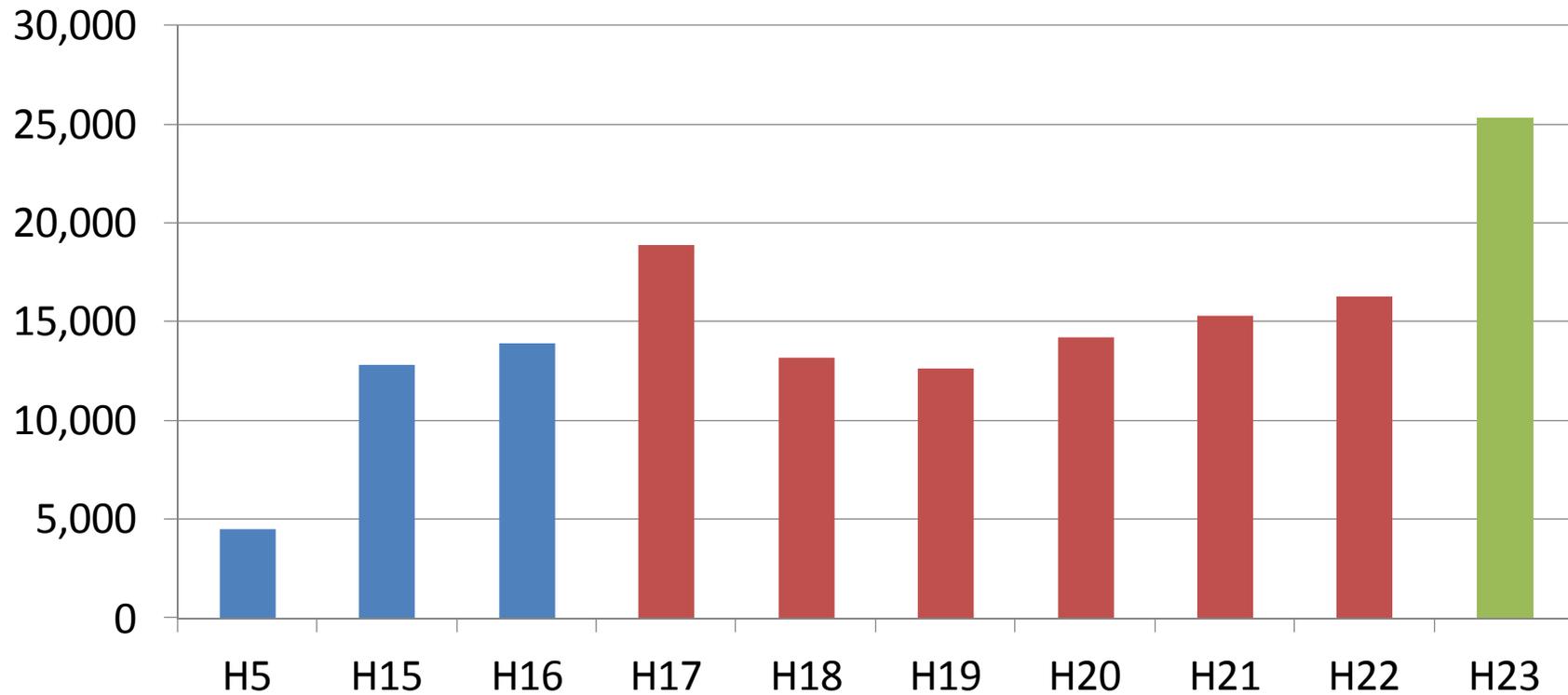


## 遺産地域周辺の観光客数（藤里町）



- ・集計範囲は藤里町全町（観光地のほとんどが白神山地関連）
- ・H5は県外、県内の区別なし

## 遺産地域周辺の観光客数（八峰町）

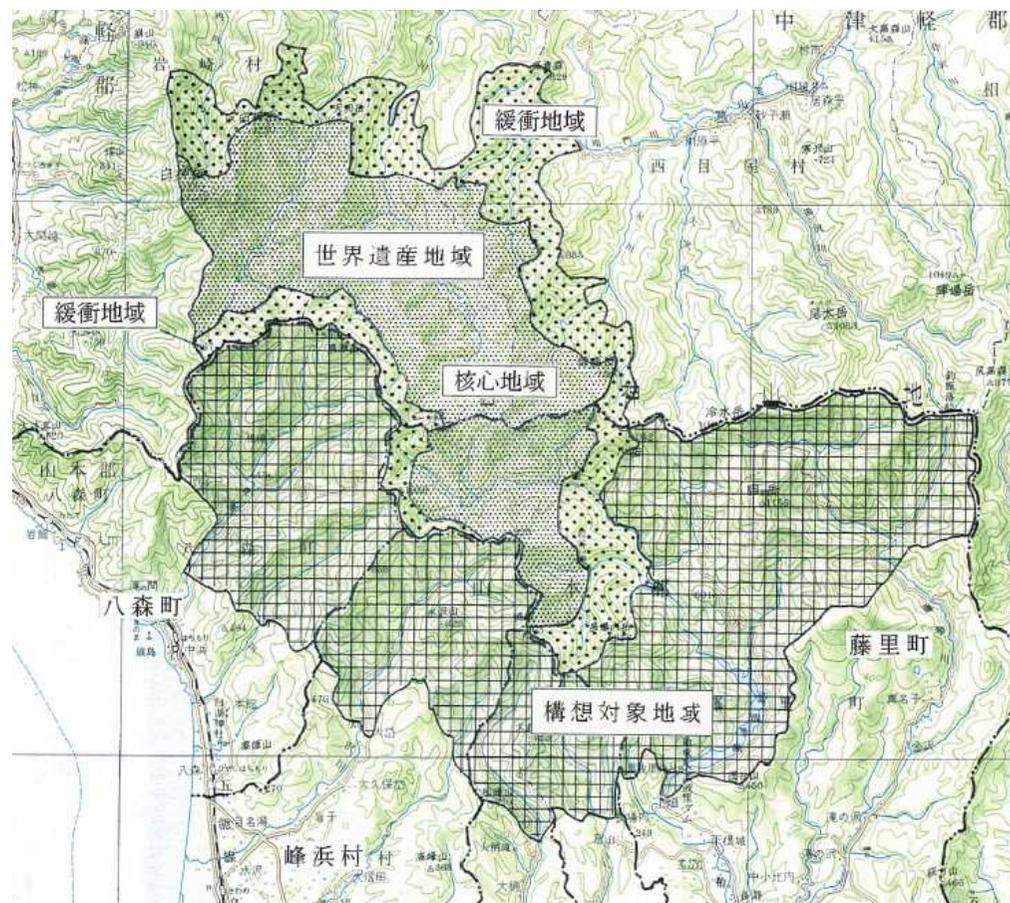


### 【集計範囲】

- ・H5～16: ニツ森
- ・H17～22: ニツ森、留山
- ・H23～: ニツ森、留山、真瀬岳、ぶなっこランド、三十釜溪谷、ブナの森公園

# 秋田白神自然ふれあい構想

- ▶ 平成6年度から3力年で世界遺産周辺部の植生調査や動植物調査を実施
- ▶ 平成9年3月「秋田白神自然ふれあい構想」を策定



# 秋田白神自然ふれあい構想

---

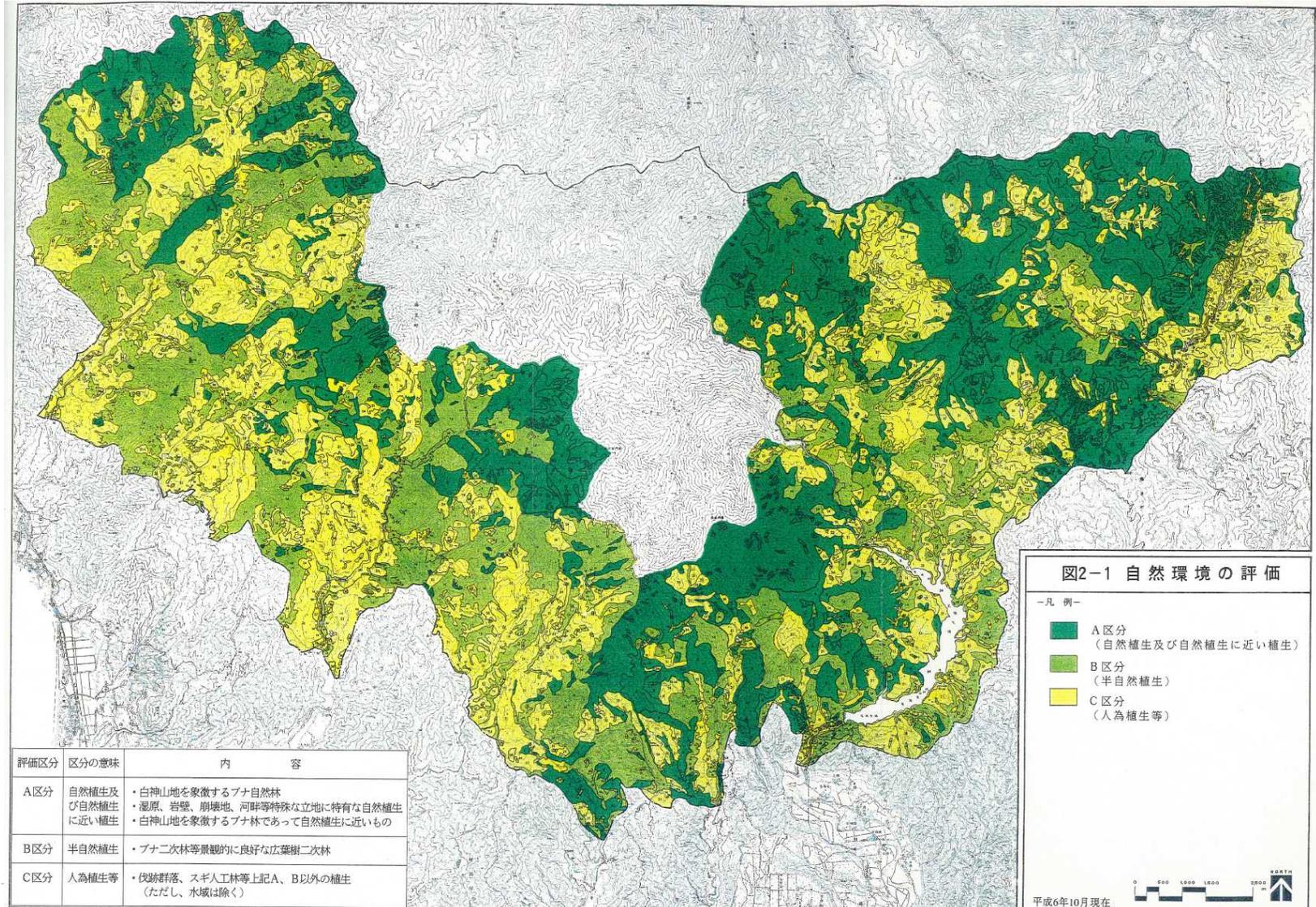
## ▶ 世界遺産地域

- ▶ 白神山地世界遺産地域管理計画に基づき保全

## ▶ 世界遺産周辺部

- ▶ 遺産地域を含め、白神の森の多様な生物を保全
- ▶ 環境への負荷の少ない持続可能な地域づくり
- ▶ 白神山地の自然や伝統的地域文化を活かした地域活性化

# 遺産地域周辺の自然環境評価



# 遺産地域周辺の自然環境評価

---

- ▶ A区分(自然植生及び自然植生に近い植生)
  - ▶ 周辺地域を代表する自然環境、適切な保全が必要
  - ▶ 原生的自然とのふれあいの場
- ▶ B区分(半自然植生)
  - ▶ A区分が分断化、孤立化している場合、本植生により連続性を確保
  - ▶ 景観的に良好、自然とのふれあい拠点
- ▶ C区分(人為植生等)
  - ▶ 水源涵養、生物多様性に配慮した持続的な森林施業、ブナ林復元、広葉樹林化
  - ▶ 市民参加による森づくり、森林・林業への理解を深める場

# 秋田白神自然ふれあい構想の主要プロジェクト

---

- ▶ **ハタハタの森プロジェクト**
  - ▶ 世界遺産地域周辺部の自然再生
- ▶ **野生生物エコランドプロジェクト**
  - ▶ 野生生物の移動回廊の形成
  - ▶ 野生動物と林業の共存を目指した面的森林整備
- ▶ **白神エコミュージアムプロジェクト**
  - ▶ 周辺地域の活用・活性化

# ハタハタの森プロジェクト関連

- ▶ NPO、ボランティア、地元自治体等による広葉樹の植樹活動
- ▶ 「秋田県水の緑の森づくり税」の補助事業も活用
- ▶ H23年度は6団体が実施（参加者総数：605名）

北羽新報 平成24年 6月12日(火)



# 野生生物エコランドプロジェクト関連

- ▶ 白神八甲田緑の回廊の設定 (H13)
- ▶ 国設鳥獣保護区の指定 (H15)
- ▶ 秋田白神県立自然公園の指定 (H16)
  - ▶ 既存の2つの県立公園を再編・拡張



※林野庁HPより抜粋



# 白神エコミュージアムプロジェクト関連

---

- ▶ 白神山地世界遺産センター藤里館(H10)
- ▶ トイレ、登山道、キャンプ場などの整備
- ▶ 林野庁による普及啓発施設や歩道の整備
- ▶ 白神ガイドの育成



世界遺産センター藤里館

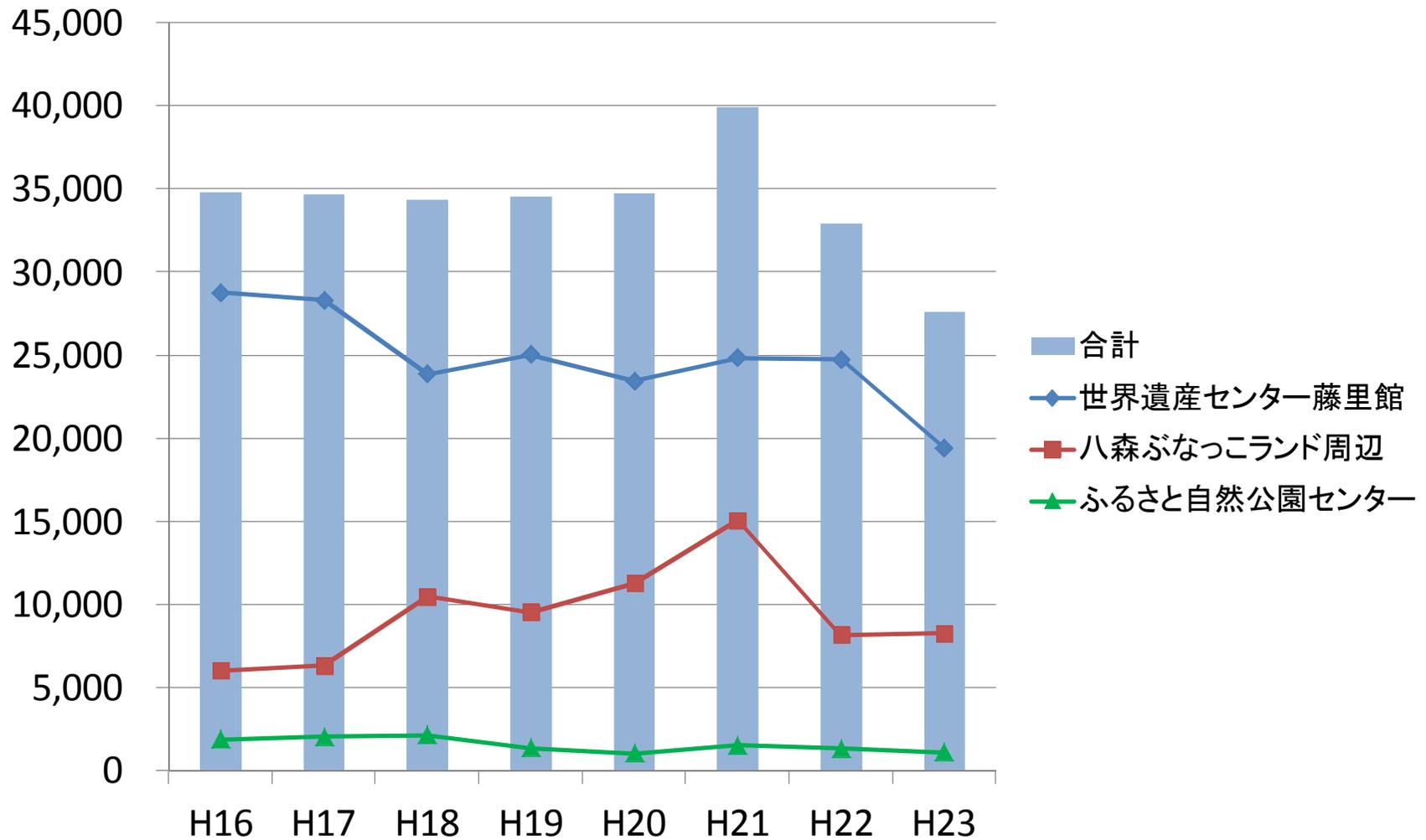
※写真:環境省HPより抜粋

# 拠点施設の整備状況

---

- ▶ 白神山地世界遺産センター―藤里館
- ▶ 八森ぶなっこランド
- ▶ あきた白神体験センター
- ▶ 素波里ふるさと自然公園センター

# 拠点施設の利用状況



# 森林環境学習

- ▶ 児童生徒等を対象に、森林環境教育活動を実施
- ▶ 「秋田県水の緑の森づくり税」の補助事業も活用
- ▶ H23年度は15の小中学校が白神山地周辺で、森林環境学習、自然観察、植樹、きのこ植菌体験などを実施  
(参加人数:897名)

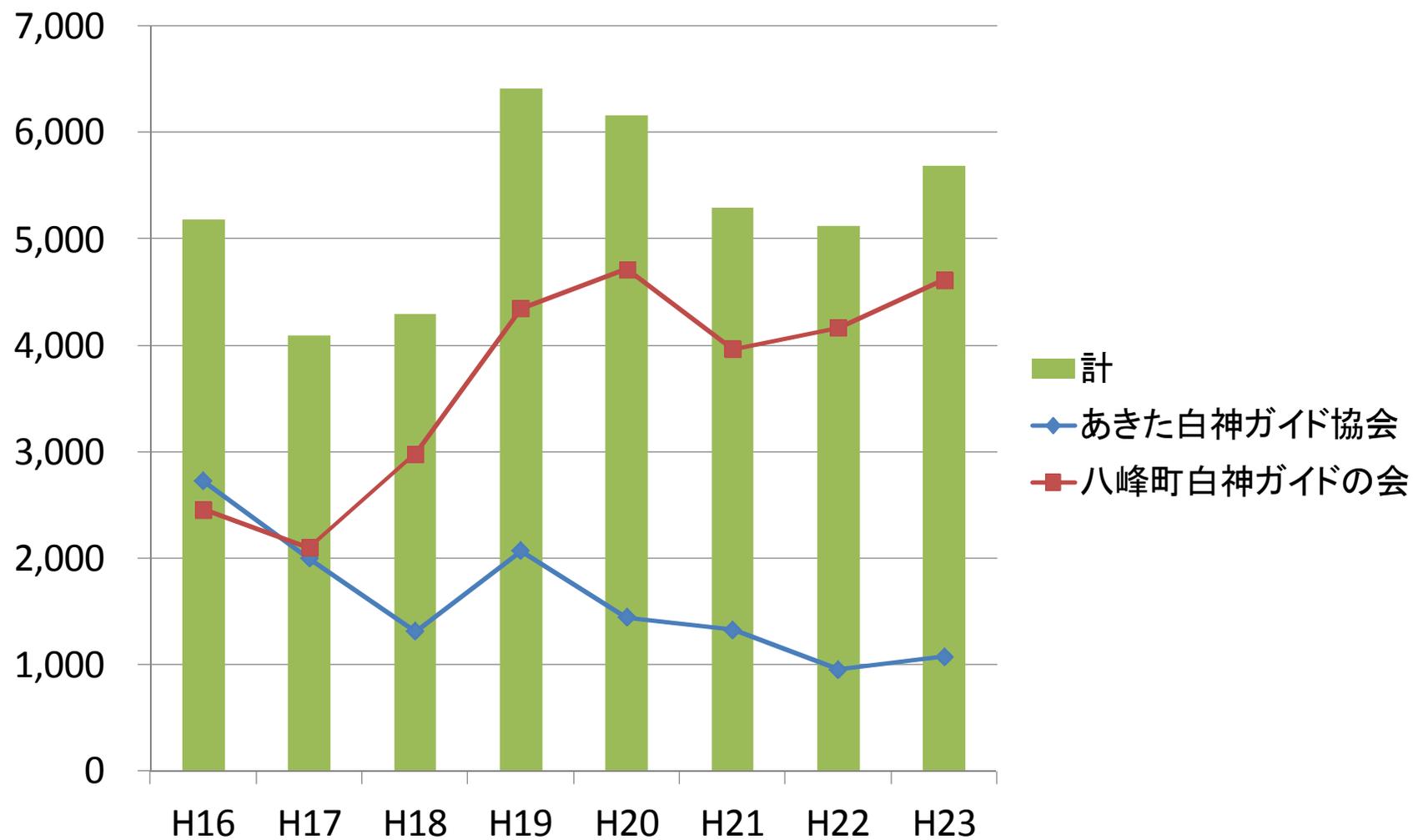


## 白神ガイド団体の取組

---

- ▶ 秋田白神ガイド協会（藤里町：会員19名）
- ▶ 八峰町白神ガイドの会（八峰町：会員57名）
  
- ▶ 2団体が連携し、「あきた白神ガイド連絡協議会」を設立
- ▶ アサヒビール(株)の社会貢献事業の寄付を受けて活動
  - ▶ 登山道の補修、案内看板設置、新聞等への広告掲載、パンフレット作成、研修によるガイドの資質向上など

# 白神山地ガイドツアーの利用人数



# 環白神エコツーリズム推進協議会

---

- ▶ エコツーリズムを通じた環白神地域の振興、環白神地域の自然・文化資源の保全と適正利用を推進

## 【会員地域】

- ▶ 青森県：鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、弘前市
- ▶ 秋田県：藤里町、八峰町

## 【活動内容】

- ▶ 環白神エコツーリズム推進の基盤づくり
- ▶ 地域資源の活用に向けた情報整理
- ▶ 地域共同プロモーション・情報発信

## 【最終的な目標】

- ▶ H28: 総合的な役割を担う機関の設立(窓口の一本化)

# 白神山地世界自然遺産登録20周年

---

- ▶ 平成25年12月11日 世界自然遺産登録20周年を迎える
- ▶ 青森、秋田両県で、記念イベント等を検討中
- ▶ 保全が大前提、観光はDCと連携



## 今後の課題

---

- ▶ 周辺施設の老朽化と補修
- ▶ 来訪者数の減少
- ▶ 遺産地域の保全と地域活性化の両立
- ▶ 入山規制の取り扱い
- ▶ ニホンジカの分布拡大の懸念
- ▶ 野生動物と人との関わり(ツキノワグマ、ニホンザル)



岳岱のブナ林